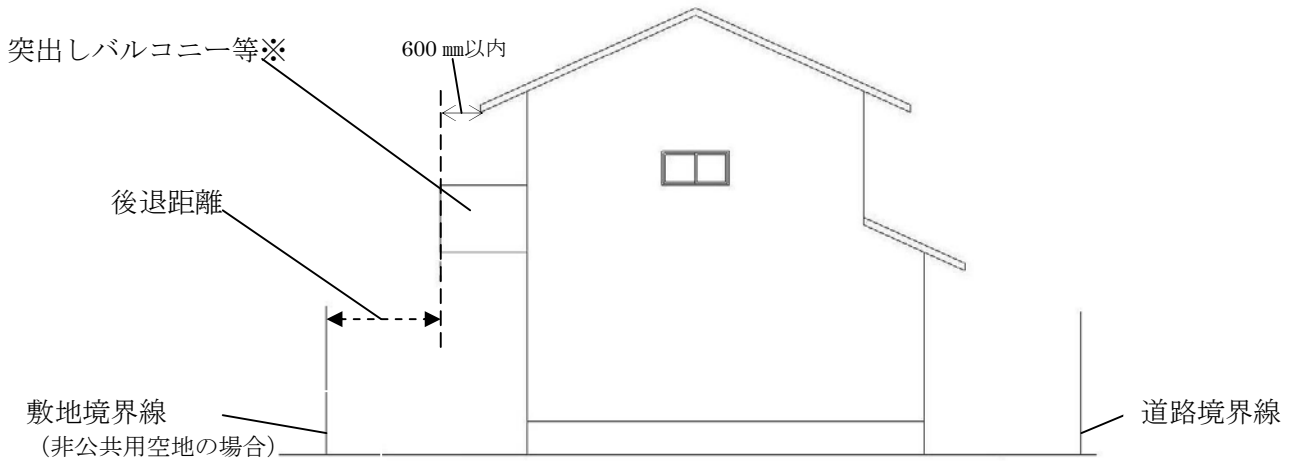


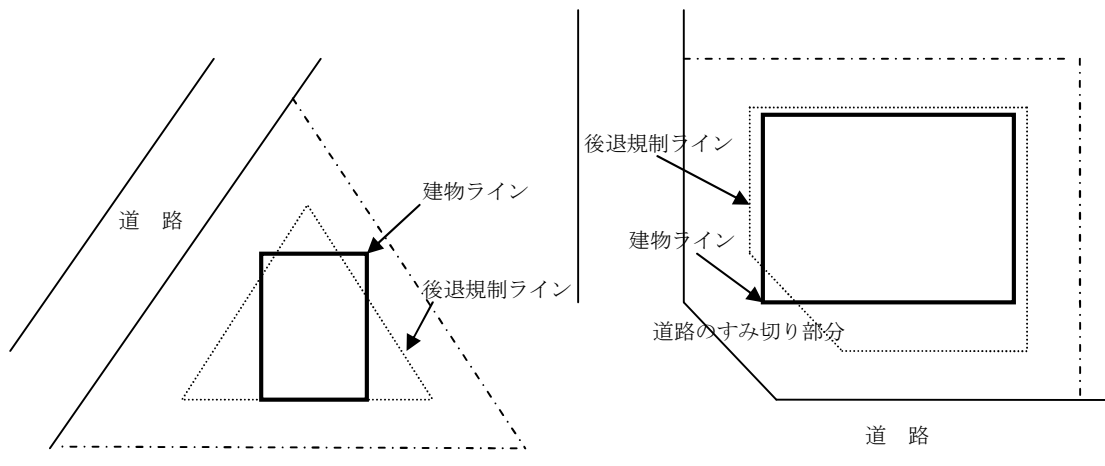
第4章 解説図集

図1 後退距離の例(10^{ページ}関係)



※突出しバルコニーについては、道路、公園、広場その他の公共の用に供する空地（公共用空地）から見えない位置に設ける場合につき、設置可能です。

図2 後退距離に関する不整形敷地特例の例(10^{ページ}関係)



この形状の敷地は、不整形敷地には当たりませんが、敷地のいわゆるすみ切り部分に、建築物の一部が突出する場合には、不整形敷地特例を適用して、後退距離を緩和することがあります。

図3 共通デザイン基準のイメージ図(17ページ関係)

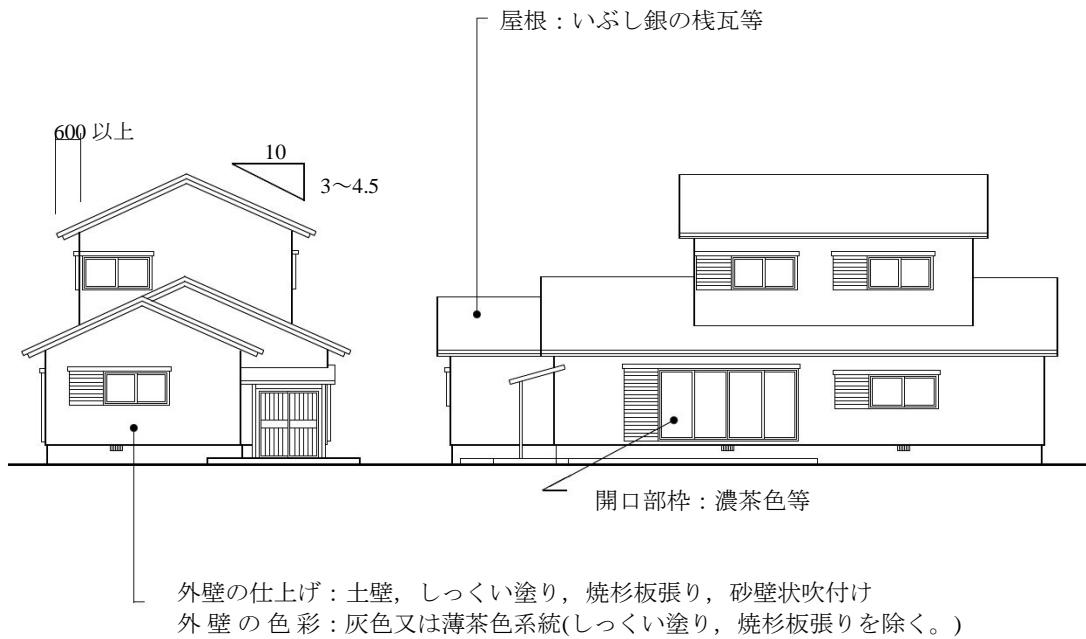
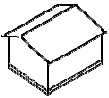
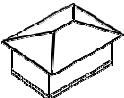
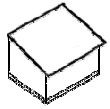
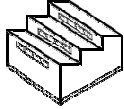
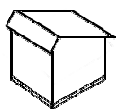
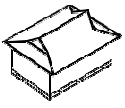
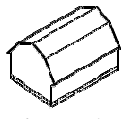
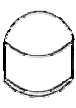
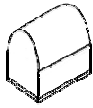

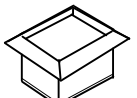


図4 屋根の形状(17ページ関係)

	認められるもの	不適切なもの			
屋根形状	 切り妻屋根	 寄せ棟屋根	 片流れ屋根	 のこぎり屋根	 まねき屋根※
	 入り母屋屋根		 腰折れ屋根	 ドーム	 かまぼこ屋根
			 陸屋根	 ひさし状パラペット	

※まねき屋根とは、棟から一方の軒先までの最短の水平距離が他方の軒先までの最短の水平距離の概ね4分の1以下のものとします。